

# 福島原発と富岡町訪問記

## もくじ

	ページ
はじめに . . . . .	1
<b>序章 原発事故の背景と事故後の対策・問題点 . . . . .</b>	<b>5</b>
1 東日本大震災とは	
2 福島第一原発及び第二原発での事故	
3 福島第一原発事故の放射性物質による環境汚染	
4 原発事故状況と国際原子力 INES 評価	
5 「広島・長崎の原爆と福島原発事故」での放射能汚染の違い	
6 福島第一原発事故とチェルノブイリ原発事故	
7 事故後の現状と課題	
<b>第1章 福島第一・第二原発の見学と富岡町役場訪問の経緯 . . . . .</b>	<b>19</b>
1.1 福島第一原子力発電所と富岡町訪問の目的	
1.2 福島第一原子力発電所等の交渉経過	
1.3 富岡町役場との交渉	
1.4 訪問団の募集	
<b>第2章 「原発見学・富岡町訪問」の行程 . . . . .</b>	<b>23</b>
2.1 行程表	
2.2 訪問団の「見たい・知りたい」ポイントのメモ	
<b>第3章 福島第一原発事故現場の最前線 . . . . .</b>	<b>25</b>
3.1 福島第一原発事故の概要	
3.2 JR 富岡駅へ	
3.3 東京電力旧エネルギー館	
3.4 福島第一原発視察の事前説明	
3.5 福島第一原発を訪問	
3.6 福島第一原発視察ルート	
3.7 汚染水対策	
3.8 福島第一原発廃炉に向けたロードマップ（燃料デブリ取り出しの今）	
3.9 自動運転 EV バス	
<b>第4章 福島第二原発の見学 . . . . .</b>	<b>43</b>
4.1 福島第二原発へ向かう	
4.2 視察事前説明	
4.3 福島第二原発視察スケジュール	
4.4 福島第二原発の概要	
4.5 核燃料の安定冷却作業の取組み	
4.6 原子炉格納容器内エリア等に入室	
<b>第5章 富岡町訪問 . . . . .</b>	<b>51</b>
5.1 東日本大震災と原発災害	
5.2 富岡町 福島県立ふたば医療センター附属病院の訪問	

5.3	富岡町役場の訪問	
5.4	富岡町での光景	
<b>第6章</b>	<b>富岡町復興のシンボル「富岡ホテル」</b>	<b>59</b>
6.1	富岡再生へ鉄路再開	
6.2	有志による富岡ホテルの建設	
6.3	ホテル支配人及び東電関係者との懇談	
<b>第7章</b>	<b>事故後の取り組みと風評被害を探る</b>	<b>63</b>
7.1	福島県における「食と放射線」安全・安心への取り組み	
7.2	風評被害のがん「原発汚染水対策の現状」を知ろう	
7.3	女子中学生の声「放射能はうつりません」について	
7.4	福島の高校生によるフランスでの発表	
7.5	原発事故7年目 揺れる甲状腺検査	
7.6	風評被害の実例を探る	
7.7	福島風評被害対策	
<b>第8章</b>	<b>訪問団参加者の印象記</b>	<b>81</b>
1.	団 長 長谷川 武	「福島原発と富岡町訪問の印象」
2.	副団長 中村 豊	「福島原発視察から日本の原子力発電を考える」
3.	団 員 橘 亨	「東京電力福島第一・第二原子力発電所見学記」
4.	団 員 上前 忠幸	「過去を振り返ることは出来ても、戻ることは出来ない」
5.	団 員 福田 利雄	「福島原子力発電所見学会に参加して」
6.	団 員 氏家 盛通	「事故後の福島原発を見学して」
7.	団 員 志田 潤治	「未曾有の災害」
8.	団 員 野澤 武夫	「反省の過去を思い出す」
9.	団 員 千田 久治	「福島原発見学」
10.	視察団責任者 早瀬 武雄	「関係者のご配慮に感謝します」
<b>お礼の挨拶状・特別講演記録</b>		<b>87</b>
1.	神奈川県放射線友の会より 東京電力福島第一・第二原発、東電パワーグリッド神奈川総支社、 富岡町役場・福島県立ふたば医療センター附属病院 宛	
2.	東京電力福島第二原発副所長 吉田 薫 様より会長 長谷川 武 宛	
3.	東京電力パワーグリッド神奈川支社（吉村・東条）様より訪問団全員 宛	
4.	平成30年度神奈川県放射線友の会総会 特別講演録	
<b>おわりに</b>		<b>93</b>
<b>参考文献</b>		<b>94</b>
<b>訪問団員 略歴</b>		<b>95</b>
<b>「とみっぴー」デザイン使用許諾通知（承認番号 第102号）</b>		<b>96</b>